**土木学会論文集特集号（水工学）**

**修正原稿新旧対照表（作成例）**

土木学会論文集特集号（水工学）編集小委員会

●First Author：Name

●Corresponding Author：Name

●Title：＊＊＊＊

※※※　**査読者　１**：

【修正意見】 p.○の右段 上から□行目の「AAはBBである」のAAはWWの間違い
【回答】 　　　指示に従い，修正しました．

1. 【修正意見】○○という論点は△△△という実績から考えると矛盾しているため×××と修正すべきである．
【回答】 　　　△△△の実績には，□□という矛盾があり，これこれという点に疑義がある．著者らはこうした研究に批判的な立場から最新の●●による計測法を用いて明らかにし，新たな知見を得た．これについては数値解析からも実証されており，△△△の実績を否定する結果を得るにいたった．ただし，■の分野における研究の流れを理解する上で誰それの研究を紹介し，本研究の成果との相違点を論ずることは有意義である．査読者の指摘を考慮し，△□らの研究を参考文献に追加し，以上の点に関する著者らの見解をp.4 左段式 (4) の 2 行下「・・・が得られた」の次に加筆した．
『著者らの考えは△□らの研究と～～の点で相違しており云々・・・』
2. 【修正意見】 図？中の曲線の違いが判別できない．
【回答】 　　　同図の曲線種をよりわかりやすいものに変更致しました．

※※※　**査読者　２**：

1. 【修正意見】・・・・・・・・
【回答】 　　　誰それはそもそもそこんなことを言っており，著者らの見解と明らかに矛盾する点があちらこちらに見られる・・・．
2. 【修正意見】 ・・・・・・・・
【回答】 　　　査読者Aの査読意見２．と同じ趣旨の修正意見であり，前述の回答のように本文を加筆修正した．

※※※　**査読者　３**：

1. 【修正意見】・この分野において数々の知見を得てきたABC・WWWらの研究を参考文献としてあげ，本研究ではこれといかなる点で新規性が見出されたのかを詳細に説明すべきである．
【回答】 　　　ご指摘のようにABC・WWWらの研究を既往の研究として紹介し，参考文献に加えました．
2. 【修正意見】 図-5において「実験値と理論値がよく適合している」とあるが，とてもそのようには見えません．実験精度あるいは理論の近似精度との関連性から，同図の適合度について著者らの見解を加筆頂きたい．
【回答】 　実験の精度がこうこうであるのに対し，理論解析においては，非線形項を線形化し，QQという仮定が導入されている．実験におけるP～Tにおいては，この近似仮定を満足する条件にはないため，この部分においては実験値を理論によって説明することはできません．以上の点は本文に記載されていなかったので加筆修正致します．

以上．